

学長メッセージ

学長の朔でございます。

学位記を授与された、学部生 3,917 名、大学院修士課程・博士課程前期および専門職学位課程修了生 186 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これだけ多くの学生を社会に送り出せることは、私たち教職員一同大きな慶びとするところです。

ご家族や関係者の皆さまにも、心からお祝い申し上げます。

このたびの卒業式については、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、中止するという苦渋の決断をいたしました。皆さんにとって、一生に一度の卒業式を中止することになり、誠に残念でなりませんが、状況を理解してくれるものと思っています。

さて、本日をもって、皆さんは社会人になります。学生ではありません。社会人として飛び立つ皆さんへ、三つのことを、お話ししたいと思います。

まず、最初にお話ししたいことは、ここまで皆さんを立派に育ててくれた、ご両親・ご家族、先生方、そして社会に対する感謝の気持ち、自然や神を畏敬する気持ちを忘れないでほしいということです。私たちは色々な弱さや欠点を持ったまま成長し、多くの人たちに支えられ受け入れられています。そのことに対する感謝です。

皆さんは、大学入学の受験を勝ち抜き、進級し、卒業する、福岡大学が社会に誇る、素晴らしいエリートであります。これからは、「建学の精神」に基づいた福岡大学の独創的な教育を受けた皆さんが、社会でそれを実践してほしいと思います。

私を感じますに、ある程度満たされた中にいますと、あまり自分の置かれた状況に感謝しない傾向にあります。私は人生を振り返って、感謝することを大切にする、それが家族、両親、自分自身を大切にするのみならず、社会や祖国、自然を大切にするにつながると考えています。

しかし、急には感謝もできないし、思いやりや社会貢献など語れないのであります。それは、ハードワークの後にこそ、思いやる心や感謝が生まれ、社会貢献ができるのです。ハードワークが必要です。卒業までに受験されたいいくつかの国家試験や卒業論文もその一つでしょう。ハードワークの後に、アイデンティティーが生まれますので、その精神を継続する必要があります。

これから、皆さんは推測不能の様々な場面に遭遇します。今回の新型コロナウイルス感染症に関しても、同様です。卒業式が中止になり、このように学長挨拶もウェブでお伝えしています。しかし、様々な問題に遭遇するたびに、人は一歩ずつ飛躍的に成長します。線状に、linear に成長するのではなく、階段状に成長します。多くのチャレンジ、Stay hungry、常に現状に満足せず上を目指す、そこから社会貢献が生まれますので、皆さんの頑張りを、期待したいと思います。

次に、人生の組み立てについてお話ししたいと思います。大きな目標を持つことは大切です。目標は短期的、そして長期的視点で設定することが必要です。常に志を高く維持してほしいと願っています。しかし、自分の考えたルールの上だけを歩く人は、誰一人としていません。むしろ、こうならなければ良い、という方向に、人生は動いていきがちです。

人間ですので、失敗もあります。うまく行かない方が多いのですが、上手くいかないときこそ、皆さんの真価が問われるのです。愛と敗北は人生を豊かにします。人は必ず死ぬ、これがサイエンスで一番正しいエビデンスです。その観点に立って、一度の人生を懸命に駆け上がってください。命の大切さを感じながら、スウィングする皆さんを応援したいと思います。

私は福岡大学のスローガンとして、「Rise with Us」を掲げています。共に成長し、共に駆け上がろうではありませんか。皆さんは、2万人の在学生、27万人の卒業生、4,300人の教職員のグループの一員です。共に連動し、拍動して、社会に貢献していきましょう。

そして、最後にお話ししたいことです。これからの皆さんを取り巻く社会の環境は、大変厳しいものがあります。グローバル化、多様性

の尊重、A Iの参入など、ソサエティ5.0社会に向かって、社会が動きます。働き方改革が推進され、研究の分野ではアウトカムが要求されます。すべてにおいて、正しい、ベストワンの選択や倫理的問題の解決が、必要になってきます。今までの常識が非常識になることが、現場では起こってきます。

皆さんが、そのような社会の中で、これまでに身に付けた様々な力を駆使し、先頭に立って進んでいってくださることを期待しています。

福岡大学は、すぐれた社会人を育てます。皆さんが今後とも研鑽を重ねて、社会に貢献する仕事に邁進されるよう、期待しています。

卒業おめでとう。

令和2年3月19日
福岡大学長 朔 啓二郎